



多様性を認めあい、人権を尊重する社会づくり
(男女共同参画)

● 現状と課題 ●

性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現には、個人を尊重し、性別による差別の撤廃が必要です。当町において取り組みを進めている男女共同参画社会の形成については、そのような意識が重要であり、「菰野町男女共同参画推進プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現を目指しています。

全国的に、男女平等への認識は高まりを見せる一方で、社会全体においては、社会の慣行の中に性別による固定的な役割分担意識が未だ根強く残っています。

行政はもちろんのこと住民や企業などで意識啓発や人材育成を行い、あらゆる分野において男女共同参画の視点を取り入れることにより、一人ひとりの意識の改革を図ることが求められます。さらに、国においては、「女性の活躍」を重視し、特に女性が働きやすい環境づくりに力点が置かれています。このことと、家庭内での役割分担は表裏一体であることから、働き方の見直しなども含めて、性別にかかわらず仕事と生活の調和が図られるよう、家庭や地域、事業所における環境の整備が求められています。

● 目指す方向 ●

- ① 男女共同参画に向けた意識の高揚を目指します
- ② 男女共同参画社会の形成を目指します

地域づくりにおいて大きな役割を担う、自治会役員における女性の割合が極端に低いことにより、女性の意見が反映されにくい状況となっています。このような状況の中で、避難所開設が必要となる自然災害が頻発する昨今、女性や子育て家庭に配慮し、女性の視点を取り入れた避難所運営が求められており、防災リーダーなどへの積極的な女性の登用が課題となってきました。

● 関連する個別計画 ●

- ・菰野町男女共同参画推進プラン (①②)
- ・菰野町子ども・子育て支援事業計画 (①②)

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関心を持ち講座などに参加する ・自分の生き方、地域・社会のあり方について、男女共同参画の視点から理解する ・各種団体や就業の場において女性の指導的立場への登用を図る ・多様な働き方の実現に努める ・自治会役員に女性を登用し、地域づくりに女性の意見を反映させるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画関係の講座やイベントを開催し、意識の高揚を図る ・町の実施する事業やイベントにおいて、男女共同参画の視点を持って実施する ・委員会や協議会などへ女性の参画を推進する ・DV被害者などの個人情報管理に細心の注意を払う